



自信と誇りと感謝を胸に！

小野中学校だより
第 15 号
文責：校長 大河原久宗
2018.12.11.TUE
TEL:72-3355 FAX:72-2829

＜教育目標＞
【夢～自立・友愛・健康】
・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
・互いのよさを認め、高めあう生徒
・健康で、心身を鍛える生徒



「互いに助け合う心・思いやる心」！



12月4日（火）、各生徒会委員会の活動の活性化を図るとともに、活動内容についての理解を深めることをねらいとして「第2回生徒集会」が行われました。学校生活を見直すために、生徒会役員からは休み時間のアンケート（始業何分前に着席しているか）を基に、休み時間の過ごし方について話があり、各学年委員長からは、各学年の現状についても話がありました。よりよい小野中学校にするためには、生徒たち自身が、「気づき、考え、実行する」といった自主的で自立した態度を育むことが必要です。「プラス1」の心を持ち、さらにすてきな小野中学校をみんなで築いていきましょう。集会では、「互いに助け合う心・思いやる心」がいっぱいの学校にしたいという、校長の思いを「天国と地獄」のお話から伝えました。

「天国と地獄」

ある男が「天国」と「地獄をのぞいてみました」

どちらも綺麗な花が咲き、水が流れ それはそれは美しい場所でした。

テーブルにはおいしそうなごちそうも並べられています。

しかし「地獄」の住人は皆、がりがりにやせこけていて、目は血走り気が立っている様子。



「こんなにも美しい世界で、いっぱいごちそうが用意されているのに、

なぜ人々は飢えて気が狂いそうなんだろう」

やがて食事の時間を知らせる鐘が鳴りました。

「天国」の住人にも「地獄」の住人にも、たった一つ与えられた条件があります。 1メートル以上の長い箸を使って食べなければならない。

「地獄」の住人は鐘がなると一斉に長い箸をつかみ、我先にと一生懸命ごちそうを食べようとしています。しかし、箸があまりにも長すぎるので悪戦苦闘。

せっかく箸でくった食べ物を落としてしまったり、箸が長すぎるために隣の人とぶつかり 「食べ物が自分の口に入らないのはお前のせいだ」と互いをののしり合い、他人の食べ物を横取りしようとして、けんかばかり。

そんなことをしている間に食事の時間は終了。

それは見るに耐えない光景でした。

次に「天国」の住人の様子を見に行きました。皆ふくよかで笑顔が絶えず、幸せそうな様子です。「地獄」の住人と条件は全く同じ。1メートル以上の長い箸を使って食べなければならない。しかし、「天国」の住人はおいしい料理をお腹いっぱい食べることができます。

あなたは、なぜかわかりますか？

「天国」の住人もいよいよ食事の時間がスタートです。

「天国」の住人は長い箸で食べ物を挟むと、向こう側の人の口に入れてあげます。

その人もまたこちらに食べ物を運んできてくれています。

お互いに仲良く他の人とごちそうを分け合っていたのです。

その長い箸を自分のために使うのではなく、周りを喜ばせるために使っているのです。

そういうことが自然に行われている世界でした。

だから「天国」の住人はいつも笑顔を絶やすことなく幸せいっぱいなのでした。

天国も地獄も実は同じ場所。

ただ違うのは、「互いに助け合う心、思いやる心」心構え一つで、そこは天国にも地獄にもなります。





「心」が入っている漢字！

明日、12月12日<いい字一字>は、1(いい) 2(じ) 1(いち) 2(じ)で「漢字の日」です。1995(平成7)年、日本漢字能力検定協会(漢検)が制定しました。日本人一人一人が毎年、『いい字』を少なくとも『一字』覚えてほしい、という願いが込められています。また、同協会では毎年この日、京都・清水寺で「今年を表現する漢字」を発表します。昨年度は「北」、今年の漢字は何になるのでしょうか。漢字の日にちなんで、「心」という字が入っている漢字を考えてみてください。どんな漢字を思いつくでしょうか。

例えば、「心の音」と書くと「意志の意」という字になります。「意」という字は、「気持ち」とか「考え」という意味です。「心の音」という文字の作りと意味から考えると、「意見」とか「意志」という言葉がとても大切なものに思えてくるし、言葉の意味と作りの関係が何となく納得もさせられてしまうから不思議なものです。そんなふうに文字を見つめていると、その文字を作った自分たちの祖先の思いや考え方方がうかがわれてきます。他にもたくさんあります。探してみてはどうですか。結構おもしろい発見があるかもしれません。

◎ 「息」

「自分の心」が「息」なんです。「息」というのは、自分の心を出し入れしていることなんですね。それで生き(息)ているわけです。「息子(むすこ)」はどうでしょう。親にとって、「息子」とは「自分の心の子」と書くんですね。私にも「息子」が一人います。21歳になりましたが、「自分の心の子」ということを忘れずに育てていきます。

◎ 「忙」や「忘」

「りっしんべん=忙」も「心」を表しています。「忙しい」はどうですか。「忘れる」はどうですか。「心が亡(な)くなる」と「忙しい」になったり、「忘れる」になったりします。心を亡くさないようにしたいものです。

◎ 「愛」

「受」という字の真ん中に「心」を入れたのが「愛」。つまり、相手の「心」を「受」けとめるのが「愛」。※右の「愛」には「ありがとう」！

◎ 「優」

「優」という字は、「人」の横に「憂(うれ)い」という字がある。「憂う」状態の人のそばに立っている人・・これを指して「優(やさ)しい」、更にはそのままが「優(すぐ)れている」からこそ、どんどん意味が広がっていったとのこと。※右の「優」には「おもいやり」！

「人は悲しみが多いほど、人には優しくできる」。

昔、「金八先生」というドラマがあり、その主題歌は海援隊の「贈る言葉」
『暮れなずむ町の光と影の中去りゆくあなたへ贈る言葉悲しみこらえて微笑むよりも涙かかるまで泣くほうがいい人は悲しみが多いほど人には優しくできるのだからさよならだけではさびしすぎるから愛するあなたへ贈る言葉』

こうして見つめるとおもしろいことに気づくものですね。たまには言葉をゆっくりと見つめてみましょう。調べた人は校長先生に教えてくださいね。待っています。

私たちの「心」の裏には言葉(態度)が必ずあります。言葉(態度)を大切にするということは、自分を大切にすることでもあるし、相手も大切にすることにもなるのです。

「全力投球3S」の2学期！

12月4日(火)生徒集会後に「第7回表彰」を行いました。10月・11月で子どもたちが頑張った各種大会(柔道・剣道・ソフトテニス・空手道)や各種コンクール(書写・書画・作文・音楽祭・読書感想文・標語)、英語スピーチコンテスト、英語検定試験などです。表彰の名称のみお知らせします。

1. 田村三方部親善剣道大会
2. 小野町民体育祭・阿部杯少年剣道大会
3. 福島県中学校選抜剣道大会
4. 県中地区新人柔道大会
5. 田村地方中学校団体対抗ソフトテニス大会
6. 第86回全国書画展覧会
7. 田村地区書写コンクール
8. 地域安全標語
9. 第45回福島県中学校英語レシテーションスピーチコンテスト
10. 第38回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会
11. 「家庭の日」作品コンクール
12. 福島県少年空手道選手権大会
13. 第10回田村地区作文コンテスト
14. 田村地区青少年読書感想文コンクール
15. 田村地区中学校音楽祭(第3部創作)
16. 第2回英語検定
17. 小野町長杯武道大会